

銀行名	広島銀行
タイトル	「せとみらいファンド」を活用した抜本策による企業再生支援
取組み内容	<p><b>【動機（経緯）】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 水産物地方卸売市場の荷受会社であった A 社は、過去の小売業への進出を企図した投資等の失敗により多額の不良資産を抱え、実質債務超過額は約 10 億円に上っていた。（但し毎期一定のキャッシュフローは確保）</li> <li>・ 公共性が高く、地域に必要不可欠な卸売市場の存続（地元販売者・生産者への影響回避）と雇用維持（約 50 名）を図るため、H20/7 月に広島県再生支援協議会（以下支援協という）が関与し抜本的な事業再生計画策定を開始。</li> <li>・ 支援協が関与し約 10 億円の債務超過部分の債権放棄や D D S 化による再生計画案を提案するも、いずれも他行（B 行・C 行）の応諾得られず不成立となり、H22/9 月に抜本策を棚上げとした期間 15 年の暫定リスケ計画にて一旦全行で同意。</li> <li>・ H24/12 月の「せとみらいファンド」設立を機に、当行より他行（2 行）へファンド活用による抜本策（金融支援）実施による早期再生を提案。</li> </ul> <p><b>【取組み内容】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 各金融機関が「せとみらいファンド」に債権売却。（各行が実質債務超過額相当を売却損計上）</li> <li>・ 同ファンドにて、当社への事業改善指導を行うなか、Good 会社と Bad 会社への会社分割を実施。その後、取引各行が Good 会社に対するリファイナンスを行い（各行正常先を想定）、Bad 会社は同ファンド内にて清算実施。（ファンド売却 3 年後を目処）</li> <li>・ 尚、当卸売市場を所有管理する D 市に対しても、当行より強い働き掛けを行ったことから、当社に対しこれまで通り賃料維持や冷蔵倉庫等の設備更新面での側方支援継続見込。</li> </ul> <p><b>【お取引先にとっての効果】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ H25/9 月当行が同ファンドに債権売却。その後 H25/11 月 B 行も同様に売却済。</li> <li>・ 残る C 行も債権売却を検討中であり、今後、上記の通りファンド内での抜本策実行により、当社の早期再生、事業継続を進め、地域経済の安定化に寄与。</li> </ul>

銀行名	広島銀行
タイトル	外航船貸渡業に対する経営改善支援
取組み内容	<p><b>【動機（経緯）】</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 外航船貸渡業の取引先が市況悪化により資金繰りに窮し、リスクに陥り、当行へ支援要請があった</li></ul> <p><b>【取組み内容】</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 船舶管理能力の強化を骨子とした中期経営計画の策定支援</li><li>・ 上記中期経営計画を軸とした金融機関間の調整</li><li>・ 経営の承継に対するアドバイス</li><li>・ 売船による資金繰り改善へのアドバイス</li></ul> <p><b>【お取引先にとっての効果】</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 中期経営計画の策定、アクションプラン・資金繰りのモニタリング体制の確立</li><li>・ 銀行間の円滑な資金融通体制の確立</li><li>・ 売船により、リスクの解消</li></ul>

銀行名	広島銀行
タイトル	外部専門家と連携した海外進出支援
取組み内容	<p><b>【動機（経緯）】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 県内自動車部品製造業は完成車メーカーの海外生産拡大により、順次海外進出を進めている。</li> <li>・ A 社では海外進出を決定したものの、完成車メーカーの新車種生産開始にあわせて、極めて短期間で海外新工場を立ち上げる必要があった。</li> </ul> <p><b>【取組み内容】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 海外事業の業務設計、及びシステム設計・導入を外部コンサル会社と共同サポート</li> </ul> <p>（実施内容）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 開発済の業務機能調査（自動車部品製造業の業務テンプレート）により、業務プロセスをフローチャート化。（見える化） <ul style="list-style-type: none"> <li>海外現地における詳細業務フロー図作成とともに業務マニュアル整備</li> <li>システム初期構想に活用し、最適なシステムベンダーを選定</li> <li>海外現地で運用する基幹システムの要件定義に活用し、システム導入を円滑化</li> </ul> </li> </ul> <p><b>【お取引先にとっての効果】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ A 社は海外事業を短期間で円滑に立ち上げ、またシステムに関する初期コストを大幅に圧縮できた。</li> <li>・ システム構築期間：約 6 ヶ月（初期費用として 30 百万円程度の削減効果）</li> </ul>

銀行名	広島銀行
タイトル	船舶ファンド(せとうち経済圏・シップ・パートナーズ・ファンドへの出資)
取組み内容	<p><b>【動機（経緯）】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ H24 年頃まで世界経済の低迷と新造船大量竣工により海運マーケットは低迷。加えて、長期の円高により、当行取引先においても、円高の影響で計画船の自己資金が不足し、キャンセルとなる事案が発生</li> <li>・ 上記経緯から、利害関係者が応分のリスクを負担し、瀬戸内船主・造船所を面で支援する体制の構築が必要であると考えた</li> </ul> <p><b>【取組み内容】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自己資金不足の船主、受注に苦しむ造船所に対する支援を目的に、(株)リサ・パートナーズが設立した「せとうち経済圏・シップ・パートナーズ・ファンド」に出資</li> </ul> <p><b>【取組みの効果】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 計画船の自己資金が不足した船主に対し、船舶ファンドを受け皿とした案件で融資を実行</li> <li>・ 取引先船主の計画船キャンセルを防止</li> </ul>

銀行名	広島銀行
タイトル	広島県からの事業受託による創業支援
取組み内容	<p><b>【動機（経緯）】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 当行はこれまで、ベンチャー支援担当の配置や、（公財）ひろしまベンチャー育成基金の運営等、県内の創業活性化を目指した活動を展開してきたが、より効果的な創業支援を行うために、広島県との連携を深めてきた。</li> <li>・ 広島県としても、県内の創業支援の必要性を感じており、平成 25 年 4 月、創業支援業務の実施事業者を公募。</li> <li>・ 当行の応募が採択され、平成 25 年 6 月～平成 26 年 3 月の期間で創業支援に取り組むこととなった（他の受託事業者は野村総合研究所、ソラサビス）。</li> </ul> <p><b>【取組み内容】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 当行では対象を「 大学研究者による創業」「 学生による創業」「 その他」と定め、支援を展開。 大学研究者による創業支援は、以下の手法で実施。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 大学研究者 30 名の訪問および事業化に向けたヒアリング 興味があり、有望なシーズを有する研究者への、大手ベンチャーキャピタル等による継続支援</li> <li>・ 平成 25 年 10 月、先行する大学発ベンチャー（株）エグジュによる講演会・パネルディスカッションの開催</li> <li>・ 創業間もないベンチャーへの、専門家によるコンサルティング支援</li> </ul> </li> <li>・ 学生による創業支援は、以下の手法で実施。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 県内大学の枠を超えたビジネス研究会（学生ビジネスプラットフォーム）の創設支援</li> <li>・ 先行する大学発ベンチャー（株）和えるによる講演会・パネルディスカッション、プラットフォーム発足報告会の開催</li> </ul> </li> <li>・ その他 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 当行融資先およびベンチャー育成基金の助成先へのフォロー</li> <li>・ 同先への、ITベンダークラウド訪問による Web 戦略策定支援</li> <li>・ 県内企業へ対する、企業内創業に関するアンケート調査</li> </ul> </li> </ul> <p><b>【取組みの効果】</b></p> <p>訪問した 30 名のうち、2 名について大手ベンチャーキャピタル等を活用した創業支援を継続</p> <p>平成 25 年 10 月に実施した講演会には約 90 名が参加、創業の参考になった等、高評価を得た。</p> <p>3 社の大学発ベンチャーにコンサル実施（26 年度も当行による支援を継続）</p> <p>平成 26 年 3 月に実施した講演会には、約 100 名が参加。将来の就業の指標となった等、非常に高い評価を得た。</p> <p>平成 26 年 3 月、学生ビジネスプラットフォーム発足。26 年度も活動継続</p> <p>ベンチャー企業計 49 社への支援を実施。</p>

銀行名	広島銀行
タイトル	産学連携の仲介をきっかけとした融資
取組み内容	<p><b>【動機（経緯）】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 工具製造業であった A 社は近年売上が伸び悩んでおり、新製品・新技術の開発に取り組んでいた。</li> <li>・ 独自に取り組を進めていたものの、単独では解決できない技術的課題に直面し、大学との連携のために当行へ仲介依頼。</li> </ul> <p><b>【取組み内容】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 当行を通じて、広島大学の研究者を紹介。</li> <li>・ 相談の末、課題解決へ向けた共同研究を実施することとなった（現在は研究実施中）。</li> <li>・ 開発資金については、地域の補助金を獲得。</li> </ul> <p><b>【お取引先にとっての効果】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ つなぎ融資（90万円）実行。</li> <li>・ 同社から、大学の仲介について感謝を述べられた。</li> </ul>

銀行名	広島銀行
タイトル	持株会社を活用した事業承継
取組み内容	<p><b>【背景（経緯）】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 建設業等を営む A 社の社長 B の年齢が 65 歳となっており、次の世代（ご自身の子）へ事業承継を考えていた。</li> <li>・ また、A 社にはグループ企業が複数社あるものの、各社の意思決定（権限）はほとんどが社長である B に集中していた。</li> <li>・ また、各グループ企業の資本構成も複雑となっている状況であった。</li> </ul> <p><b>【ヒアリングによって明らかとなったニーズ】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ グループ各社の成長に伴い、後継者一人がグループ全社の経営を行うことは困難であるため、グループ各社へ権限を委譲し、組織的な経営への移行を目指したい。</li> <li>・ プロパー従業員に対して、社長になれるインセンティブを与えて、役員等の経営参画意識及びモチベーションを高めたい。</li> <li>・ 事業環境の変化に対応するために、新規事業を展開する組織体制への移行を検討したい。</li> </ul> <p><b>【取組み内容】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ A 社の顧問税理士等の専門家と連携し、持株会社体制へ移行を支援。</li> <li>・ B は持株会社の社長に就任。グループ会社については後継者及びプロパー従業員が社長に就任するとともに、持株会社の役割と事業会社の役割（権限委譲）について支援した。</li> </ul> <p><b>【お取引先にとっての効果】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ A 社グループの持株会社体制への移行により、後継者を含めた経営陣の育成を図る組織体制へ移行できた。</li> <li>・ 今後、中・長期的に事業を後継者に集中させるとともに、自社株式等の議決権についても、後継者へ集約する予定。</li> </ul>

銀行名	広島銀行
タイトル	金融経済教育への取組み
取組み内容	<p>【動機（経緯）】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・銀行の役割、銀行の3大業務等を理解してもらうため、正しいお金の使い方、働くことの意義を理解してもらうために実施。</li> </ul> <hr/> <p>【取組み内容 中学生、高校生向け】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・午前は、経済活動の概要、銀行の役割、お金の大切さについて講義及び店舗の見学（窓口、貸金庫室、ATMコーナー）、DMセンター、事務センター、屋上の慰霊碑等の見学を実施。</li> <li>・午後は、ひろしま美術館にて美術鑑賞を実施。</li> </ul> <p>【取組み効果 中学生、高校生向け】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・経済、銀行の3大業務などの講義や関連部署等の見学により銀行の役割等を理解してもらうだけでなく、美術鑑賞も実施することにより、参加者から非常に高い評価をいただいている。</li> </ul> <hr/> <p>【取組み内容 高校生向け】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・当行の取締役の母校から講義の依頼があり、銀行業務、経済動向等について講義を実施。</li> </ul> <p>【取組み効果 高校生向け】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高校の卒業生である当行の取締役から、銀行、経済、自身の高校時代の話聞くことで、銀行業務や将来の職業に対する考え方等の参考となり、非常に高い評価をいただいた。</li> </ul> <hr/> <p>【取組み内容 小学生向け】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・夏休みに「キッズマネースクール」を広島エリア、福山エリアを対象に各1回開催。</li> <li>午前は、店舗の見学（窓口、貸金庫室、ATMコーナー）及びATMの体験等を実施。</li> <li>午後は、外部講師（税理士）による、お金の大切さ、働くことの大切さ、税金の基礎知識について、クイズ形式にて講義を実施。</li> </ul> <p>【取組み効果 小学生向け】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・夏休みの課題研究の一環として、日ごろ見ることのできない銀行内の見学や体験等を通じて、お金や働くことに対する意識が高まることから、保護者及び小学生から非常に高い評価をいただいている。</li> </ul>